



クローズアップ
CLOSE UP

食のフェス駅前通りで

9月9日、JR前橋駅前けやき並木通りの6車線を歩行者天国にし、前橋バルストリート2023を開催。約200台のキッチンカーが集結しました。会場ではステージイベントやワークショップ、事前予約制のバーベキューなども実施。朝から夜まで多くの人でにぎわいました。



昔の資料から見る教育

9月30日まで教育資料館で、「写真や資料から見る前橋の学校教育～戦後から令和にかけて」を開催しました。夏休み期間中は多くの子どもたちが訪れ、昔の白黒の写真などに興味を示したり、初めて見る給食の食缶など、今と昔の違いを発見したりしていました。



広瀬川活用して新発見

9月10日に街中リバーフェス in 広瀬川を開催。参加者は、雷神橋から絹の橋までの区間をSUPやカヤックなどで下り、水上散歩を楽しみました。同実行委員長の佐藤さんは「この場所は観覧しやすいことも魅力。近くに住民たちにも体験してほしいです」と話していました。

8月に九州で開催された世界マスターズ水泳選手権。女子200メートルバタフライで藤原さんは3位に輝いた。世界75カ国からスイマーが参加、5歳刻みの区分でレースが実施される。「特に印象的だったのはメダルセレモニーやミックスゾーン（インタビュゾーン）の華やかさ。会場ではアップテンポの曲がかかり、アナウンスは英語。緊張感もありながらいつもとは違う雰囲気です。レースを楽しめました」

「全国にいる仲間と遠征先で情報交換したりする楽しさも、原動力になっています。第二の青春をしていますよ」と笑顔で話す。次は12月に本市で開催する「ころんマスターズスイムミート」の実行委員として、大会の成功を意気込んでいる。

水泳で第二の青春を謳歌

いきいき
まえばし人
世界マスターズ水泳選手権3位
藤原 紀子さん・59歳
箱田町



「泳ぐ楽しさを伝えて、大人へは生涯スポーツとしての普及に努めたいです」



収穫を待つ人参3兄弟

昔は野菜嫌いだっただけだった網野さん。好きに転じたきっかけは、会社員時代に生産者からもらった採れたてのトマトでした。「トマトが一番苦手だったの

に、驚くほどおいしかったんです。実は今まで味をきちんと意識したことがなかっただけなのだ」と気付かされました。その感動体験が農業カメラマン活動の始まりでした。「畑で野菜に触れたときの感動を写真で表現したい。そして、その写真が野菜に興味を持ってきっかけ、おいしさに気付いてもらえるきっかけになってくれたらうれしい」と思い、野菜の写真SNSに公開し始めました。今では写真を活用し、販売や情報発信のサポートをしながら、農家が抱える課題にも一緒に向き合っています。



農政課
027-898-5841

